

37. 三国山 (神奈川県西部 標高 1320m)

山中湖南岸の県境尾根を歩くコースで、御殿場駅から河口湖行きのバスに乗り籠坂峠で降りるともうそこは標高 1000m を越えます。火山灰をサクサクと踏みながら歩き始めると、春はタチツボスミレやキジムシロの群落、秋には楚々として咲くミズヒキヤリンドウがかわいらしく出迎えてくれます。

三国山は四季を通して楽しめる山ですが、鳥のベストシーズンはやはり夏鳥で賑わう 5~6 月頃でしょう。キビタキが芽吹き始めたブナやヒメシャラの下枝に止まり、美しい囀りを聞かせてくれるのもこの頃です。カッコウの声を遠くに聞きながら、直ぐ近くではミソサザイやコルリ、コマドリの囀りのシャワーの中を、1 時間も歩くと展望の開けるあざみ平に出ます。

この広いあざみ平のお花畑は春から秋まで花の絶える事はありません。特に、初秋から咲き始める巨大なフジアザミは見ごたえがありますが、足元に可憐に咲くイカリソウやカワラナデシコも見逃せない花達の一つです。

左に山中湖、右に駿河湾を望みながら歩き、あざみ平を過ぎる頃後ろを振り返ると畑尾山の上に雄大な富士山が姿を現します。その右肩には南アルプスが遠くに連なっていますが展望がきくのは晩秋から早春のころ迄でしょう。ここから 10 分も歩くと秋には一面にマツムシソウが咲き乱れ、ウメバチソウがそこかしこに群生して

富士をバックに歩く

いる小さな原っぱに出ます。

ここからは展望のきかない尾根歩きとなりますが、ブナ、ミズナラ、ヒメシャラ等から成る自然の雑木林なので少しも苦になりません。カラ類の声を聞きながら、ゆったりした登り下りを繰り返しているとたちまち神奈川、静岡、山梨の三県境に当たる三国山の頂上となります。

冬は運が良ければ、アトリやマヒワの群れが見られる事もありますが、積雪期にはそれなりの冬山装備が必要とされます。

帰途は、東へ径を下り明神峠へ出たほうがバスの便が良いでしょう。急坂を下り鉄塔を過ぎると見ごたえのあるブナの巨木に



コースタイム 5時間
籠坂峠～あざみ平～大洞山～檜木山～三国山～明神峠～明神峠入口
地形図：1:25,000 案内図：富士・富士五湖、丹沢（昭文社）

季節

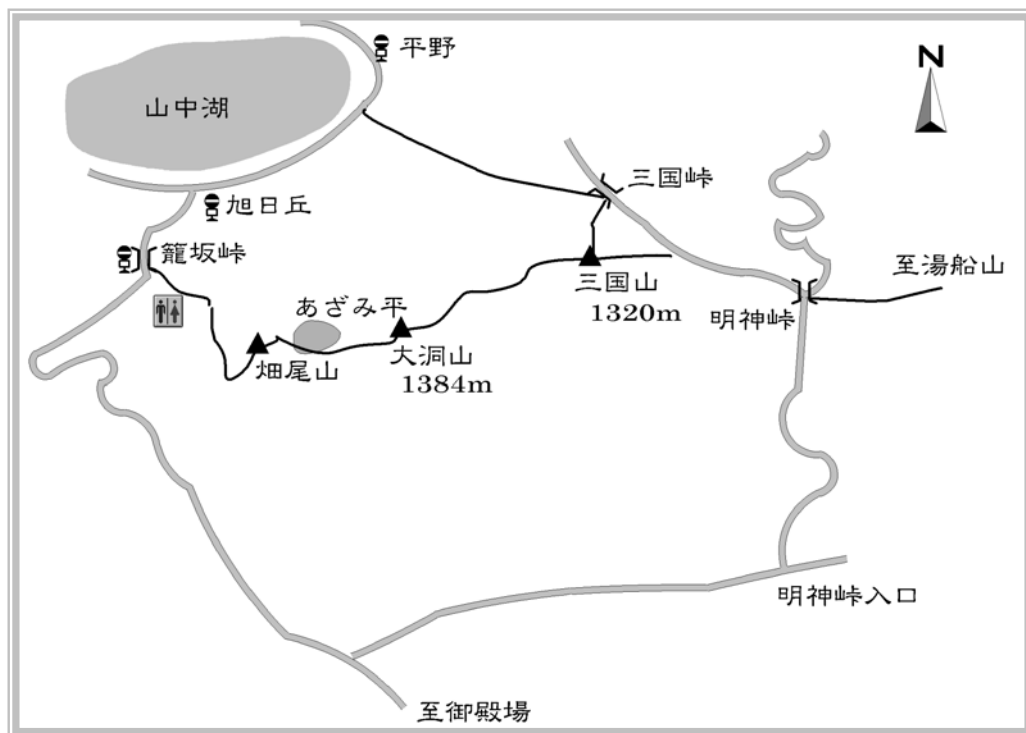
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

出くわします。しばしブナの森に身を置いてのんびりするのにも良いものです。

ここから数分で三国峠から明神峠への林道に出ます。林道を横断して静かな山道に分け入れば 30分で明神峠です。ここからは舗装された広い県道を歩いて、1時間で明神峠入口のバス停となります。（浅川久子）



カフラナデシコ



観察できた鳥

1998.9.19 1998.10.8 1999.1.3 1999.5.8 2000.1.3

エナガ・ヤマガラ・ヒガラ・ウソ・ハシブトガラス・コガラ・ホオジロ・シジュウカラ・コゲラ・ゴジュウカラ・カフラヒワ・アトリ・マヒワ・ヒヨドリ・カシラダカ・ツグミ・トビ・ジョウビタキ・モズ・ルリビタキ・ムクドリ・シロハラ・カケス・キジバト・キジ・ジュウイチ・カッコウ・ツツドリ・ホトトギス・アオゲラ・アカゲラ・ツバメ・キセキレイ・ヒヨドリ・ミソサザイ・コルリ・マミジロ・クロツグミ・ウグイス・センダイムシクイ・キビタキ・メジロ・スズメ・オナガ・ノスリ・ビンズイ・アカハラ・オオルリ・イカル・イワツバメ・ハシボソガラス・セグロセキレイ・ハクセキレイ・エゾビタキ

あし

- ・行き JR御殿場線御殿場駅下車 富士急行バス 河口湖行き 籠坂峠下車
- ・帰り 明神峠入り口バス停 富士急行バス 駿河小山駅
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照